

車両の内装を改良しよう！！～様々な内装で快適性を追求～

要旨

私達は福井鉄道の利用者数を増加させるという目的の下、福鉄が日頃から使用している車両の内装に注目した。どのような内装が客をより満足させるのか”観光”、”通勤通学”という2つの視点から分析し、新しい内装のデザイン案を作成した。内装改良のテーマとしては、「快適性の追求」。通勤通学で日頃から利用する客、観光目的で観光地に赴くことを楽しみにしている客が快適に過ごせる車内環境を提供できるように案を考えた。成果としては、通勤通学・観光目的の利用客それぞれのニーズに応じた内装を考案できた。

1 はじめに

本年度、福井県の北陸新幹線開業にともない、福井県に流入する観光客数は増加する見込みである。その裏では、県内の各種鉄道の利用客の増加も見込まれる。利用者への快適性を重視し、利用者の増加を図るためには、現在の福鉄の車内環境をより向上させる必要があると考え、内装の改良に至った。

2 研究方法

福鉄の利用形態として、継続的な利用、そして県外からの観光客に焦点を当てることを考慮し、「通勤・通学手段」「観光目的の移動」で利用する客の興味を引くような内装をインターネットで調べた。

3 結果と考察

通勤・通学、観光の2つの観点から利用客が満足いく内装を提案した。まず、通勤・通学、観光列車で共通する改良として、モニターの改良、自販機、トイレの設置を考えた。また、通勤・通学列車はロングシートに、観光列車はボックスシートにした。観光列車では、福鉄の駅周辺の観光地に合わせたチラシや壁や吊り革のデザインの変更を考えた。私達は、車内の利便性、観光地におもむくことの醍醐味、それらを総括した快適性の要素が内装に施されることで、利用者の増加はより確実になっていくと考えた。

4 今後の課題

今回、福鉄の内装を考案したが、一つ考慮していなかった点がある。それは、すべての設備・機能が「健常者」にしか焦点を合わせていなかったことである。障がい者への考慮もできた内装案を考案することが肝要である。同時に、実現可能な内装の吟味も必要である。また、今回の研究においては、車両の増設は全面的な車体の新設が必要であるため、実現が難しい。限られた範囲の中でどれだけ快適性を追求できるかの研究も必要となる。

5 参考文献

<https://i.ytimg.com/vi/YVBfccvdzCo/maxresdefault.jpg>

https://stat.ameba.jp/user_images/20190123/00/syanaihanbai/16/cc/j/o2135160114343582923.jpg

<https://fukui-sabae.com/nishiyamakoenfunsui/>

<https://www.city.sabae.fukui.jp/kanko/playing/nishiyama.html>

<https://www.echizenwashi.jp/facility/papyrus/>

https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%8B%E3%81%8C%E3%82%84%E3%81%8D_%28%E5%88%97%E8%BB%8A%29